

入会式と卒業(修了)式

桑高同窓会会長 西羽 晃

2月末から3月にかけては学校行事が目白押しです。2月20日は学校評価委員会でした。同窓会とは関係ないのですが、私は学校関係者評価委員として出席しました。PTA役員も出席しての会合です。年度初めに立てた目標に対して学校から自己評価結果を提示され、それについて評価委員からの質疑応答、意見を付け加えて、学校がまとめて評価を県教委に提出するのです。部外者では実際の評価は難しいので、極めて形式的になってしまいます。その会議終了後は校長・教頭・PTA役員を交えた懇親会で、これが楽しいです。もちろん実費は自己負担ですよ。

2月28日は卒業式の予行演習の前に同窓会入会式です。同窓会長として挨拶をします。定時制は別として、今年は全日制普通科317名、理数科40名、衛生看護科38名、計395名です。高村光太郎の詩「道程」について話しました。生徒代表が宣誓文を読み上げ、同窓会として記念品を贈呈しました。

3月1日の朝は全日制卒業式、昼は衛生看護専攻科の修了式(以下衛看専攻科と略します)、晩は定時制の卒業式と1日に3回も式があります。私は桑高評議員として3年、評価委員・同窓会長として2年の出席ですが、5年間3回とも全部出席しています。3回の式は基本的には同じ形式ですが、多少つつ違って三者三様です。今年の渡辺校長は桑高は初めてなので緊張されていました。

違いを少し述べますと、各科ごとに人数も違いますので、まず会場は全日制は本校の体育館、衛看専攻科は桑名市民会館の小ホール、定時制は本校視聴覚教室です。市民会館は暖房完備で快適でしたが。あとは寒いです。カイロを貼って行きました。

証書授与は全日制は数が多いので、3科ごとに以下何名で、代表者がもらいに行きます。衛看専攻科は41人の最初と最後の生徒は証書の全文を読みますが、他の生徒は姓名・生年月日・証書番号だけを読みます。定時制は9人だけなので、全員の全文を読みます。普通科は全日制も定時制も文面は同じで、証書番号も通しです。今年最終番号は2万1600番台でした。

斉唱は全日制も定時制も国歌と校歌のみですが、衛看専攻科は「仰げば尊し」が別に加わります。全体として国歌斉唱は声も小さく、校歌は大きく聞こえました。それに今回気が付いたことですが、国歌のみテープ伴奏です。校歌などは全日制は吹奏楽部の演奏、衛看専攻科と定時制は先生のピアノ（オルガン）演奏です。国歌に対する評価が微妙である故かと思いました。

服装は全日制は全員が制服です。乱れた服装はなく、年々大人なしくなってきました。衛看専攻科は二十歳の女性が多いので、殆どがあでやかな和装の袴姿です。例外は制服のパンツスーツと訪問着の各一人です。制服を着た彼女はどのような事情があったのか知りませんが、敬意を払いたいと思います。唯一の男子は羽織・袴でした。定時制は男女とも落ちついたスーツ姿で、ここでも乱れが見られません。

一番の聞き所は答辞です。全日制は如何にもエリートらしく、そつのない文です。衛看専攻科は入学した時は分校で、専攻科になった時から本校に統合さ

れたのです。分校を懐かしむ心情が溢れて、途中で涙ぐみになり、生徒の間からもすすり泣きが聞こえてきました。定時制は人数も少ないので、クラスメイト一人一人の思い出を語り、それぞれの生活感が溢れていました。ちなみに半数は外国籍の生徒で、20台後半の女性は妊娠中とのことでした。

毎年、来賓紹介の際に「おめでとう」と言うだけのために、私は1日3回の式に参列しています。そして前途の希望にみちた、初々しいエネルギーを浴びさせてもらって、力をもらっています。

全日制と衛看専攻科の当日の様子は桑名高校のHPで紹介されていますから、ご覧ください。